

《 農業委員会事務局 令和8年度予算見積方針 》

(様式1)

部内マネジメント責任者

事務局長

相井 義博

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

・農地を守り、農業と地域を支えるために農地法等関係法令に基づいて、農業委員ならびに農地利用最適化推進委員の活動を補佐し、農地の取得や権利の保護、農業上の効率的な利用を図るための調整を行います。
・所有者や耕作者の地位の安定と農業生産力の増進を図るために、許認可業務や農地利用の最適化推進を適正に行います。

【重点事項】

・農業委員ならびに農地利用最適化推進委員の業務を適正に行っていただくために、研修や図書の提供などにより、資質の向上に努めます。
・タブレット端末、統合型(庁内向け)GISを活用することにより、機能の向上と経費の削減を図ります。
・適正な窓口対応や相談業務、申請の指導などのため、職員の研修参加や図書購入を実施します。

【健康都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】

農業は自然資本や環境を基盤としており、「農」の活用を教育、観光など多様な分野に拡大し、草津のくらしに広く浸透することで、健やかで幸せに過ごせるまちを実現します。

【見 積】令和8年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和8年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
農業委員会事務局	23,505	22,723	○農地行政の適正な執行機関として、行政へ意見書の提出を行い、農地法に基づく許認可と農地利用の最適化の推進を図るための経費を見積もりました。 ○3年に1度の農業委員選任に係る委員改選費を計上しました。
合 計	23,505	22,723	

【前年度】令和7年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
農業委員会事務局	21,381	20,606	
合 計	21,381	20,606	

【増 減】(【見 積】－【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
農業委員会事務局	2,124	2,117	○会計年度任用職員の給与改定に伴う増 692 ○3年に1度の農業委員選任に係る委員改選費を計上による増 1,684
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	2,124	2,117	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般財源	事業概要

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
農業委員会事務局	2,878	2,722	156	0	0	0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	2,878	2,722	156	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について